



この人に聞く

信濃の國から武蔵の國へ



平田 俊彦（昭42 法）

子供のころの思い出は？

物心ついてから初めて汽車に乗ったときの記憶ですが、トンネルに差し掛かるたびに警笛が鳴り、バタバタ窓が閉じられました。それでも車内には煤煙が充満していました。疎開先から上京する、6歳頃のセピア色の思い出です。生まれたのが戦局が悪化しつつあった昭和19年ですぐに母親の田舎の長野県湖東村（現・茅野市湖東）に母子4人で疎開。冬は寒い所で、田んぼに寒天を干している風景や、目覚めると布団の襟が自分の吐く息で凍っていた記憶があります。小学校の校庭が即席のスケートリンクに。姉たちは“下駄スケート”を持っていました。上京後に昭島市（当時は昭和町）で親子5人の生活が始まりました。

余談ですが、結婚後にデパ地下で懐かしさから“イナゴの佃煮”を買って帰ったら、強烈なカルチャーショックを与えたようで、こちらもビックリ（笑）。

稲門会入会のいきさつは？

就職先の地元の信用金庫で、早稲田の大先輩で当会2代目会長の植田氏からお誘いを頂き、当時、植田氏は会社では雲の上の存在で、二つ返事で入会しました。

金融機関勤務ということで、平成12年以降ずっと会計幹事を担当し、“万年会計”のつもりでいましたが、昨年からは副会長も兼任しています。

学生時代と卒業後について

卒業後、当初予想もしなかった業務に携わりました。入社後2年余りで、黎明期の電算部門に配属され、金融業務処理のソフト開発に携わりました。当時のコンピュータは頑固者で、ロジックや計算式に誤りがあったても“指示通りにやっているからね”と知らん顔。いままらパソコンで簡単にできる作業も一苦労でした。

その後、短期間の営業店勤務を挟み、企画部門で経営計画、支店の出店計画などに従事し、ここでもデータと格闘しました。“石部金吉”だったコンピュータが昨今は“ユーザー・フレンドリーだ、AIだ”と進化し、当時の苦労を考えると隔世の感があります。話が前後

しますが、大学の語学クラスは男ばかりで地方出身者が多く、東京出身だからと合ハイ（今や死語？）の企画をさせられ、某難関国立女子大へ進学した級友に頼み込み、総勢約30名で高尾山へ。この合ハイは何故か？不評で、今でもクラス会で皮肉られます。4年生進級前後は第二次早大闘争の真っ最中で、構内は立カ  
ン・集会・アジ演説。私はノンポリでした。そうこうしている間に“モラトリアム”の時は終わりました。

最近の生活は？

2年数か月前に完全にリタイア。念願だった宇宙ロケットの打ち上げを見に種子島行きを計画。この時“サンデー毎日”のありがたみをしみじみと実感。狭い島にドッと人が集中しホテルや航空券は早々と満席。打ち上げ3日前に島入りしスタンバイ。待ちわびた発射は、危惧したとおり天候不順で延期。閃光と轟音とともに大空のかなたに消えゆく数分間のロケットショーのために、結局1週間の滞在でした。

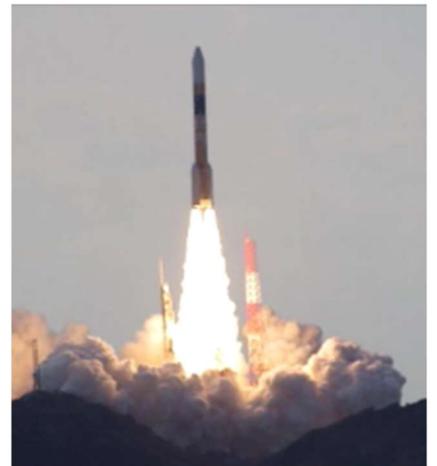
趣味は“読書”と称していましたが最近の読書量は激減。

“サンデー毎日”で時間へのハングリ  
ーさが薄れた結果と反省しています。

サークル活動はどうですか？

映画鑑賞会を担

当しているおかげで、アクションものに偏っていたジャンルが、少し広がってきました。ゴルフ会では、毎回猛打賞の最有力候補なので一念発起してレッスンを受講し始めましたが、コーチからフォーム以前の“股関節の構造”を解説され、「球技の経験が無いでしょう」と追い打ちをかけられ、運動センスの無さを痛感（笑）。“お金と時間の無駄使い”との声にもめげず、“いつかは人並みに”と努力していますが“日暮れて道遠し”です。ポケ防止に効果ありと聞き、カラオケ倶楽部に馳せ参じナツメロを歌っています。近場でのハイキングなど、稲門会はいろいろなことを気軽に始める良いきっかけになっていますね。なお、左上の怪しげな写真は、ラグビー早慶戦応援会で“五郎丸ポーズ”を真似たものです。



## サークル活動に参加しませんか？



### ハイキングの会

代表 菅野 啓明

寒くて外に出るのがおっくうだった冬が過ぎ、春風に促されるように桜が開花する4月。暑さに攻められてエアコンの効いた小部屋に閉じこもり、テレビを観たり読書で時間をつぶしていた夏が去り、快い秋風が嬉しい10月。ハイキングの会のお花見と秋の散策の催しが行われます。年配の方が気軽に参加できるようにとの趣旨から難易度の高い高山や危険な場所は避け、日常生活の延長線上にあるようなコースを選定、歩く距離も無理のない程度に留めるようにしています。

歩き終わった後、目的地の近辺で、あるいは昭島市内に帰着してから憩親会も楽しみです。



### ゴルフクラブ

代表 山中 皓博

稲門会ゴルフクラブは2005年に発足し、今年で12年目になります。途中3年間活動を休止していましたが、現在春秋の年2回、大月の花咲カントリークラブでコンペを開催しています。

このコースは平坦で、フェアウェーも広くバンカーも少ないので、初心者の方や、最近やっていないという方も安心してプレイできますので是非参加してみてください。ご夫婦での参加也大歓迎です。コンペの後は昭島に帰り、翠鳳楼で反省会。これも楽しいイベントです。

今年の春は5月10日(水)8時33分スタート3組で予定しています。



### カラオケ倶楽部

代表 福田 武

昭島稲門会の同好会の中では一番歴史の古いクラブです。月に一度、カラオケルームに集まって、オープニングに「紺碧の空」を、エンディングに「都の西北」をみんなで合唱し、あとはそれぞれ自由に自分の好きな歌を歌うスタイルで続いています。高齢者が多いので懐メロ・演歌が中心ですが、最近はニューミュージック、ポップス系の歌も増えてきています。毎月最終日曜日の正午に都合のつく人が、昭島駅北口前の郵便局隣りのカラオケ店「まねきねこ(旧ムーン)」に集まっています。飲み物・フード類の持ち込みが自由、経費はドリンクバー付きで1000円チョットです。



### 映画鑑賞会

代表 平田 俊彦

昨年発足した会で「MOVIX昭島」で開催しています。鑑賞作品は、その折々の上映作からセレクト。基本は肩肘張らない映画で、海外作品あり、邦画あり、B級娯楽作からチョット考えさせられる作品までいろいろです。「映画は好みの作品を気の向いたときにフラリと一人で見に行くに限るよ」「ビデオで手軽に楽しむのが一番」とか、いろいろなスタイルがあると思いますが、たまには劇場の大画面と臨場感ある音響で、自分のジャンルと違う作品を鑑賞してみるのはいかがでしょうか？

終映後には映画の感想を語り合いながら憩親を深めています。



### ようこそ、昭島稲門会へ ～新会員のご紹介～

根本 守弘	昭44 理工	宮沢町	山田 敦久	平14 政経	東町
田島 洋一郎	昭44 商	大神町	岩崎 眞実子	平27 文	福島町
藤吉 憲生	昭45 文	緑町			(敬称略)

## サークルと活動の紹介

昭島稲門会のサークルと活動の一端をご紹介します。

### 秋のハイキング～六道山公園へ～



晴天に恵まれた10月15日(土)、拝島駅に9名全員が時間通りに集合。八高線で2駅先の箱根ヶ崎で下車、旧国道16号線を30分ほど北上、都立六道山公園西口に到着。ふもとでくるみの実を拾い、なだらかな登り勾配を展望台目指して進みました。展望台ではスカイツリーは残念ながら周辺の樹木が茂って見えませんでした。里山民家経由で青梅街道まで下り立川駅までバスで帰りました。(菅野記)

### 役員会議とパソコン研修会



1月25日、松原町コミュニティセンターでの拡大役員会議の後、本会会員でパソコンのプロ富樫純一さんを講師に研修会が行われました。今回は写真のアッ

プです。まず、写真のサイズの編集(縮小)手順から。講師の熱心な説明にシニアの受講生が硬くなった頭を絞って挑戦をしているところです。(清水記)

### 秋のゴルフコンペ



昭島稲門会恒例の秋のゴルフコンペは、晴天の下、昨年10月12日大月の花咲カントリークラブで総勢10名(内二組のご夫婦)が参加されて、開催されました。

緑の芝生のコースは比較的なだらかで、歩くだけでも健康に繋がりそうな美しいコースですが、グリーンが難しくボールが行ったり来たりの方が多かったようです。

コンペは新ペリア方式で行われ、佐藤さんが優勝されました。(バスクロも佐藤さん)

最近のボール、クラブは良く出来ていて芯に当たらなくてもボールは良く飛びます。

道具に頼るのもよし、腕を磨くのもよしで、今年春のコンペは5月10日、是非ご参加ください。少しでも多くの方が参加され、より楽しく盛大なコンペに皆さままでしてみませんか。(岩田記)

### 「早稲田カラオケ倶楽部」



毎月の最終日曜日の正午に昭島駅北口前のカラオケ店「まねきねこ」のロビーに集合してください。毎回5～6名のメンバーが集まります。時にはこんなコスプレで楽しんでいます。

### 新サークルの立上げ歓迎：山中幹事長へ

## ラグビー早明戦



昨年の12月4日(日)、昭島稲門会の有志7人が、ラグビー関東大学対抗戦の伝統の早明戦の応援に行きました。秩父宮ラグビー場。神宮外苑の銀杏並木が最後の彩りを添え初冬としては暖かかったこの日、前半はともにトライを1つずつ奪い合い10対10の同点で折り返し。後半も競り合いの展開となり、明治が連続でトライを奪うなどしましたが、早稲田は5点を追う終盤32分に1年生の中野将伍が中央にトライを決めて同点に追いつき、ゴールも決まって勝ち越しました。早稲田は24対22で伝統の一戦を制し、通算成績6勝1敗で対抗戦の2位を決めました。昭島から繰り出した応援団の声援も大いに選手を鼓舞したに違いありません。(清水記)

## 新春顔合わせ会



2月5日(日)東中神の翠鳳楼で17名が参加し「新春顔合わせ会」が行われました。昭和26年卒の小穂さんから、平成14年卒の山田さんまで、幅広い年齢層が集い、楽しい会となりました。会員一人ひとりの近況報告がありましたが、特に昨年暮れに入会された山田さんは、現役の整形外科医として活躍されています。早稲田出身でお医者さん?最近こういう方が増え、医師稲門会も発足しています。やはり早稲田は多士済々ですね。最後に梅田会長指揮のもと全員で校歌を斉唱してお開きとなりました。(山中記)

## 映画鑑賞会

映画鑑賞会は、MOVIX昭島で行っています。

**第3回**は、9月11日(日)に、大竹しのぶが主人公「小夜子」を演じる「後妻業の女」。

後妻業のターゲットは、資産あり、持病ありの高齢者。お見合いパーティで「小夜子」は毎回、遠くを見るような目線で乙女チックに「好きなことは読書と……夜空を見上げること……わたし、尽くすタイプやと思います〜」と自己紹介。思わず「好きなことは金持老人をだますことと……預金通帳を見ること……わたし、仕事熱心なタイプやと思います〜」でしょうが!とツッコミをいれたくなりました。(平田記)

**第4回**は10月9日に「ハドソン川の奇跡」を鑑賞しました。この映画は2009年に実際に起きた事故を扱ったものです。米ニューヨークを飛び立った飛行機が直後に



バードストライクで2基あるエンジン両方が停止、推進力を失い飛行場に引き返すことも出来ずマンハッタンに墜落し多くの市民を巻き込む大惨事になるかもしれない中で、機長が瞬時にハドソン川に着水を決断、実行し乗員乗客155名全員の命を救いましたが、この奇跡的なニュースはまだ記憶に新しいところです。この映画では事故発生後の緊迫した状況や救助対応を描くのみではなく、全員生還という奇跡を起こした決断の裏側で、果たして機長の判断は正しかったのか、厳しい国家安全運輸委員会の追求の様子が描かれます。この一連の様子と対応する姿には、どんどん引き込まれていきました。派手さはないが丁寧に丹念に人を描く、クリント・イーストウッド監督と主演のトム・ハンクスの作り上げた映画であることから期待して観ましたが、見事に期待に応えてくれた作品でした。(小宮山記)

**第5回**は1月22日「海賊とよばれた男」。

百田尚樹の「出光佐三」をモデルにした同名の小説の映画化。コンピュータグラフィックスも駆使した骨太の作品に仕上がっていました。参加者で原作を読んだ人と読んでいない人の比率は3:2。「読んだ派」からは「イメージと若干異なる俳優であった」「あの部分が描かれていないのが残念」などの声がある一方「迫力ある映像がよかった」との評価も。原作と映画の違いが懇親会のお話の中心でした。(平田記)

# 郷土芸能が一堂に 昭島郷土芸能まつり

毎年5月最終の日曜日には、市内各所に伝わる伝統芸能や太鼓、また神輿・山車・屋台などの有形、無形民俗文化財がモリタウン北側に大集結し、付近はお祭ムード一色になります。例年、数万人の人出で賑わう郷土芸能まつりは今年で9回目を迎えますが、すっかり初夏の風物詩となりました。

この祭は、もともとは昭和飛行機工業(株)が地域振興を目的に設立した「昭和の森芸術文化振興会」が始めたものです。その後、市も徐々に深く関わるようになり、第4回からは「昭島観光まちづくり協会」が主体となりました。

東京都指定文化財の中神熊野神社獅子舞や市指定文化財の拝島三町の屋台、囃子などの貴重な文化財が一堂に会するのはこの祭だけです。別けても拝島三町の屋台は「一本柱後方建ち上げ式人形屋台」と言われる、大変珍しく貴重なものです。昨年初めて、三町の屋台すべてに復元修理された人形が見事に建ち上がり、大勢の観客の皆さんから拍手喝さいを浴びました。

明治期には人形屋台として完全な姿で地元町内を巡行していましたが、大正5年に町内に電線が敷設されてからは奉曳が不可能となり、人形は廃れました。しかし昨年、先行した志茂町(須佐之男命 H14)、加美町(和藤内 H26)に続いて、奈賀町の人形(弁慶)が、これも町内有志の寄付や市の補助によって、悲願の復元を果たしました。障害となった電線についても、数年の内には奥多摩街道で電線の位置を高くするための工事が行われる予定となっています。この工事が完了すると名実ともに昔日の祭りが復活することになります。

この100年ぶりに復元、勢揃いした拝島三町の

人形屋台に加え、上川原町と大神町の山車、総勢5台が頭を突き合わせてお囃子を競う「ぶっつけ」は祭のハイライトでもあります。

祭には、この他にもやはり市指定の文化財である福島囃子や東中神の睦囃子、そして何と云っても祭の盛り上げ役である神輿が大神町駒形神社、昭島駅前上友会、熊野神社・日枝神社、東中神睦、福島神社などから繰り出し、銀杏並木やその周辺を威勢よく練り歩きます。

また、諏訪神社の宮澤太鼓と昭島鳳凰太鼓も毎年祭に花を添えています。

近年では、昭島市の友好都市である岩手県岩泉町からも、郷土芸能「中野七頭舞(なかのななづまい)」が参加しておりましたが、昨年岩泉町を襲った台風10号の影響で、残念ながら今年は見送りとなりました。祭必見の勇壮華麗な舞は来年のお楽しみということになります。

第7回からは銀杏並木を中心に前夜祭も開催されています。銀杏並木には様々な模擬店が数多く出店し、訪れる人々を

楽しませてくれます。加えて今年はJAなど市内諸団体の有志による艶やかな民謡流しも予定されています。また、前夜祭のもう一つの見ものとなっているのは、銀杏並木を渡御する万燈神輿です。今年は昨年までの福島神社に代わり駒形神社の万燈神輿が登場します。灯の入った万燈は、ひと際夜の祭の雰囲気盛り上げてくれます。

夏のくじら祭とともに、いまや昭島を代表する市民祭となった昭島郷土芸能まつり。今年は前夜祭が5月27日(土)、本祭は28日(日)となります。

皆さんもぜひ一度訪れ、ご家族お揃いでお楽しみになってはいかがでしょうか。(佐藤 清 記)



昨年のパンフレットより

ちょっと訪問…会員ルポ

あさみ としひみ  
浅見 俊文さん [昭和27年第一政経卒]



今号では昭島稲門会の創設以来の会員で、永年当会の会計監査を務めておられ、お元気で会のハイキングにも毎回参加されている、浅見先輩を訪ねていろいろお聞きしてみました。(なお、インタビュー後の3月に87歳の誕生日を迎えられました。)

◇浅見先輩、お生まれ、育ちはどちらですか？

生まれたのは軍人(陸軍少将)だった父の赴任先の北朝鮮の平壤です。その後、東京(高円寺)の小学校に入学しましたが、父が名古屋の航空工廠に赴任したため名古屋に引っ越しました。父がその後、当時の昭和町(現昭島市)に陸軍航空工廠を作る責任者となって赴任したため、東京(中野)に戻り、大戦開始翌年の昭和17年に国民学校を卒業。同年に当時軍人将校子弟の育成校の山水(現桐朋)中学に入学。終戦の翌年に早稲田第二高等学校(二年制)に入学。早稲田大学政治経済学部の2年に編入し、昭和27年に卒業し、アルコールがまったく駄目なのになぜか縁があって日本麦酒(現サッポロビール)に入社しました。

◇現役のころの仕事の様子などお聞かせください。

職場は経理・総務畑ひとすじで本店をはじめ九州から北海道まで全国各地を回りました。途中で宅建(宅地建物取引主任者)の資格を取らされたため、最後は「ビール会社」から子会社の「ビル会社」の責任者となってしまいました(笑)。サッポロビールに対する「思い入れ」はハンパではなく、退職後30年近く経った今でもビールはサッポロしか頼まず、宴席でもサッポロビールがないと機嫌が悪いと稲門会の後輩達から冷やかされています(笑)。

◇退職後もいろいろお忙しそうでは？

上場会社の総務畑の実績を買われてか東京地方裁判所の民事調停委員や立川簡易裁判所の司法委員などを務めました。また北川前市長が中学の後輩だった関係からか親しくしてもらい、市民会館の委員など市の関係のボランティアの要職もいくつか引き受けました。

◇86歳になった現在の心境は？



父親の影響で私は、陸軍幼年学校、士官学校、軍人と進む予定で、「命は30歳まで」と覚悟していました。それをタッチの差で、命を永らえて、86歳まで生きてしまいました。戦争のない「平和」の有り難さをつくづく感じる今日この頃です。

[取材 編集委員 福田]



△漫画の作者は早大漫研 OB

## 久保田会員が賛助商議員記、福田会員が賛助代議員記を授与される

昭島稲門会の元副会長の久保田庸四郎さんは永年にわたり早稲田大学の商議員を務めた功績により、早稲田大学総長より「賛助商議員記」(H28年7月付け)を、前副会長の福田武さんは永年にわたり代議員を務めた功績により、早稲田大学校友会より「賛助代議員記」(H28年10月付け)を授与されました。



久保田会員



福田会員

## 今年も稲門祭で大当たり！！

昨年(2016年)10月23日、日曜日 稲門祭が盛大に開催されました。全国の校友会が集いお国自慢のB級グルメ等がキャンパス中に溢れ、年々その数が増えているような気がします。さてお目当ての福引抽選の発表です。

まず大隈講堂前に当選番号が張り出されました。昭島稲門会では、校友会賞(シーツ)5本、職域賞(企業からの景品詰め合わせ)2本、ふるさと賞(地域稲門会の名産詰め合わせ)2本、ホテル賞(リーガロイヤルホテル宿泊券)1本が当たりました。

そして大隈講堂の中に入り、稲門賞の抽選です。今年も大当たり。

福田前副会長に車のタイヤが当たりました。

ご本人の日ごろの行いが良かったのでしょう

ね。(笑)(山中記)



## キャンパス Now

### 本学順位は日本国内 1 位

(昨年12月に行われた母校の商議員フォーラムの資料から) 英国の大学評価機関「QS Quacquarelli Symonds

Ltd(QS社)」が昨年(2016版)から発表している、雇用者による評価や卒業生の活躍などの指標に基づいた2017年版大学のランキングによれば、早稲田大学は日本国内1位、アジアで6位、世界で26位と昨年以上の好順位となっています。(ちなみに2位は東京大学、3位は東京工業大学)

全体結果

日本の大学の順位 ※WURはQS世界大学ランキング2016-2017の順位

2017 国内	2016 国内	2017 世界	2016 世界	大学名	スコア	WUR(※)
1	1	26	33	早稲田大学	71.5	201
2	-	29	-	東京大学	69.5	34
3	2	48	35	東京工業大学	62.2	56
4	5	51-60	51-60	名古屋大学	非公表	115
5	6	51-60	101-150	大阪大学	非公表	63
6	3	61-70	37	慶應義塾大学	非公表	216
7	-	-	-	一橋大学	非公表	481-490
8	-	-	-	北海道大学	非公表	130
9	8	101-150	101-150	九州大学	非公表	135
10	-	-	-	筑波大学	非公表	225
11	-	-	-	東北大学	非公表	551-600

## メルアドの変更届を

本会では通信事務の迅速化と経費節減のためにできるだけメールを活用するようにしています。まだメールアドレスを登録されていない、また登録したアドレスが変わっている方がおりましたら、お手数ですが山中幹事長宛(アドレスは下記のディレクトリー)にメールでご連絡をお願いします。

## 編集後記

第4号までできました。紙面内容についての感想やご意見がありましたらぜひ編集委員または山中幹事長宛にお寄せください。次はホームページの充実が課題。創刊号でも触れましたが「皆さまの会報」です。できるだけ多くの方に登場いただき、また作品の紹介もしていきたいと思っています。短いエッセイ、短歌、俳句、川柳等、何でもお寄せください。(清水 武)

発行：早稲田大学校友会東京三多摩支部  
昭島稲門会

会長：梅田 正宏  
196-0031 昭島市福島町2-17-1  
541-6008

[umeda-masahiro@luck.ocn.ne.jp](mailto:umeda-masahiro@luck.ocn.ne.jp)

幹事長：山中 皓博  
196-0024 昭島市宮沢町2-14-39  
544-1933

[yamanaka-akihiro@nifty.com](mailto:yamanaka-akihiro@nifty.com)